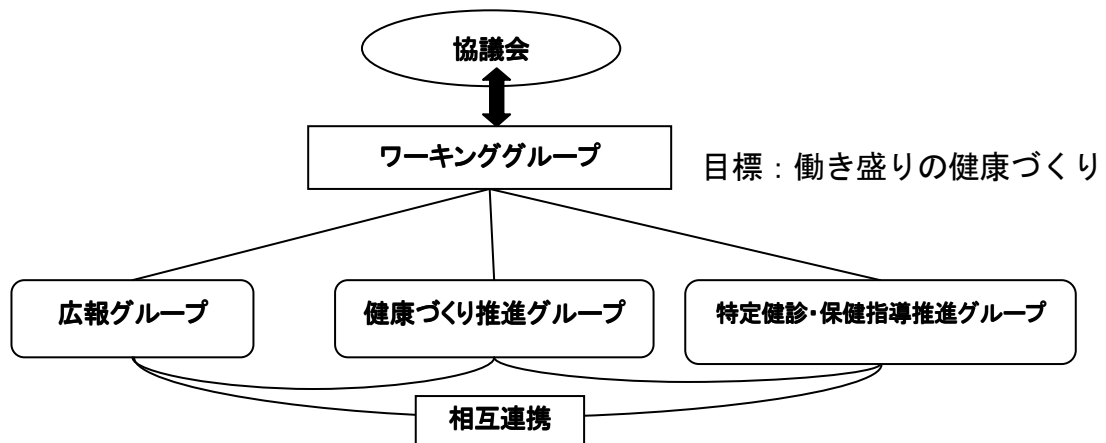


## 【ワーキングの設置】

中北地域・職域保健連携推進協議会（以下協議会）の協議事項の具体的な推進を図るための中核として、地域・職域保健に関連する業務を直接担当する者で構成し、管内の地域・職域の健康づくりの推進のために活動を行い、働き盛りの健康づくりを推進することを目的に設置しています。

ワーキンググループは①広報グループ ②健康づくり推進グループ ③特定健診・保健指導推進グループの3つで構成しています。



## 【活動内容】

### ◆ 広報グループ

- 働き盛り世代への健康情報の提供、広報活動を行う
  - \* 小規模事業所や企業に対して、健康づくり情報を提供する
  - \* 健康づくり推進Gや特定健診・保健指導推進Gから情報提供されたものを事業説明会や研修会等で普及啓発を図る
  - \* パンフレット、アンケートを活用し健康づくりや特定健診の普及啓発
  - \* イベントに参加し、健康情報の広報活動を行う

### ◆ 健康づくり推進グループ

- 健康課題の整理・解決方法の検討を行う
  - \* 各団体の持っている、健康づくりのための保健事業・知識・ツールの共有
  - \* 健康づくり、メタボリックシンドローム、生活習慣病等、連携・協働できる事業について検討

### ◆ 特定健診・保健指導推進グループ

- 特定健診・特定保健指導の効果的な推進のため検討を行う
  - \* 特定健診・保健指導の進捗状況の確認
  - \* 特定健診・保健指導の課題の解決策について協議する